

「ふるさと感じる森と清流、人とまちが  
響きあう健康と交流のまち」をめざして

巻頭言

下呂市  
Gero City



下呂市長

服部 秀洋



下呂市は、岐阜県のほぼ中央に位置し、標高が220mから3,052mまでと高低差があり、変化に富んだ地形が特徴となっています。全面積のうち山林が約9割を占め、河川に沿った平坦地と緩やかな斜面を利用して、農業地、商業地、住宅地などが混在しています。市内を一級河川飛騨川と清流馬瀬川が流れ、河川の両側に迫る山並みは、「飛騨木曾川国定公園」や「岐阜県立自然公園」の指定を受けるなど自然豊かな地域です。

市内には、江戸時代の儒学者林羅山が、有馬・草津と並ぶ「天下の三名泉」と表した下呂温泉をはじめ、通年営業の温泉地としては日本一標高が高い濁河温泉や炭酸含有量が多い湯屋温泉など、8箇所の趣の異なる温泉施設があります。他にも「日本でも最も美しい村」連合に加盟している馬瀬地域、岐阜の宝もの第1号に認定された「小坂の滝めぐり」な

ど、観光資源は温泉だけではありません。豊かな自然の中で、受け継がれてきた文化や伝統、人と人との温かいつながりなど多くの魅力にあふれる下呂市では、地域の人々が大切にする習慣や食文化を守りながら、農林業と観光が結びついた国際観光都市の創造、そして市の将来像である「ふるさと感じる森と清流、人とまちが響きあう健康と交流のまち・下呂市」の実現をめざしています。

さて国保の話題では、下呂市は県内でも一人当たりの医療給付費が高額であることから、健康寿命の延伸と医療費の抑制を目的に、前年度に引き続き施政方針に「健康」を掲げています。市民一人ひとりが子どもの頃から「減塩」を心がけた食生活に取り組み、「自分の健康は自分で守る」という意識を楽しみながら身に付けてもらう仕組みとして、「健康」につながる行動に応じてポイント

トを付与し、特典と交換できる事業も計画しております。

健康診査事業では、国保被保険者に限らず若者健診として、中学3年生から特定健診に準じた血液検査を行います。国保特定健診でも、人間ドック費用の助成や検査項目の充実と、より受診しやすい環境づくりを進め、受診率の向上を図ります。

国保税をこれまで県内でも比較的低く抑えてきた下呂市にとって、平成30年度からの国保制度改革での納付金の負担は、財政面において大変厳しいものとなりました。そのため、保険税を増税する方向で取り組まざるを得なくなりましたが、被保険者の皆さまには、急激な増額とならないよう国保基金などを充当し、健全な国保事業運営に取り組んでまいります。

下呂市の  
あらまし

DATA (平成30年4月1日現在)

面積	851.21km <sup>2</sup>
世帯数	12,216世帯
人口	32,892人
国保加入世帯	4,615世帯
世帯加入率	37.78%
国保加入者数	7,517人
国保加入率	22.85%

市章



全体の形は下呂市の「G」です。外側のラインは「森」、中のラインは「清流」を、右の楕円は「人と街(温泉)」を表しています。楕円から広がる形は、健康と交流のまち下呂市をイメージしています。



市の花 岩つつじ



市の木 もみじ